

各委員の人事

任期満了に伴う監査委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員が選任・任命されました。

監査委員（識見）は、川上則文さんが選任、山中崇さんが再任されました。任期は川上さんが平成33（2021）年11月26日、山中さんが同年11月24日までの4年間です。

教育委員会委員は、須澤真広さん、唐木博夫さんが再任されました。任期は平成33年（2021）年11月8日までの4年間です。

固定資産評価審査委員会委員は、長谷川幹男さんが再任されました。任期は平成32（2020）年11月8日までの3年間です。



代表監査委員（識見）
川上 則文



監査委員（識見）
山中 崇



教育委員会委員
須澤 真広



教育委員会委員
唐木 博夫



固定資産評価審査委員会委員
長谷川幹男

■平和への誓い新たに

平和のつどい・戦没者追悼式

第7回平和のつどい・戦没者追悼式を11月18日、豊科公民館で開催しました。

当日は、遺族会関係者や市内の小中学生、高校生など約400人が戦没者をしのび、追悼の祈りをささげました。

追悼式で宮澤市長は、「今の平和と繁栄は、亡くなられた方々の尊い犠牲の上に築かれて

いる。その記憶を風化させることなく、次世代に継承していくことが重要な使命である」と述べました。

平和のつどいでは、広島平和記念式典に参列した中学生の作文発表、小中学生の合唱のほか、穂高商業高校の演劇部と琴部の生徒による朗読劇「少年口伝隊一九四五」が上演されました。



広島平和記念式典参列の作文を市長に手渡した

朗読劇では、原爆で家族を失った3人の少年が過酷な環境の中を懸命に生きる姿が描かれており、来場者は劇を通して当時の広島の様状を目の当たりにしました。生徒たちの気迫のこもった表現で、戦争の悲惨さ、そして平和の大切さを改めて考える機会となりました。

■参加・体験・実践型

高齢者交通安全教室

市では、主に高齢者を対象とした交通安全教室を11月18日、穂高自動車学校で開催しました。

この教室は、自動車学校の教習コースで、加齢による身体機能や判断力の低下を体験するなど参加・体験・実践を重視した内容で、年3回開催しています。

この日は、小雨が降る中、三

郷・堀金地域の市民21人が参加。夜光反射材・自発光材の有効性を分かりやすく紹介する寸劇などが行われたほか、スピードを出した車の停止距離を測る実演の見学や、軽トラの運転席に座って死角を体感するなど、自動車学校ならではの実践的な体験講習が行われました。

横断歩道に近づく車の速度を

体感できる装置を使った講習に参加した松岡玲子さん（三郷温）は「安全に渡るには、意外と時間がかかることが分かった」と危険性を実感した様子でした。

本年11月末までに、県内で発生した歩行者に関わる交通事故は25件、そのうち14件の事故で高齢者が亡くなっています。



横断歩道を渡るタイミングの講習を受ける参加者

■18人が市政に提言

中学生議会

市では11月11日、市議会議場で5年目となる中学生議会を開催しました。

この事業は、市の将来を担う中学生の素直な目線から斬新な発想やアイデアを市政に反映させ、協働のまちづくりの推進に生かすことを目的としています。

生徒たちは7月から全3回の

日程で、市政を学ぶため6つのグループに分かれ、市の仕事や市が抱える課題について学んできました。

当日は市民の皆さんが傍聴する中、市内7中学校の2年生18人が宮澤市長や市の幹部職員に質問、提言しました。

穂高東中の石井滯（みどろ）さんは質疑

を終え、「緊張したけれど、これまで学習した経験を生かしてしっかり話せた。今後は提言した災害時の備えができる安曇野市を目指して、自分たちのできることをしていきたい」と話してくれました。

今回の中学生議員の提言内容は、来月号に掲載予定です。



質問・提言を行う中学生